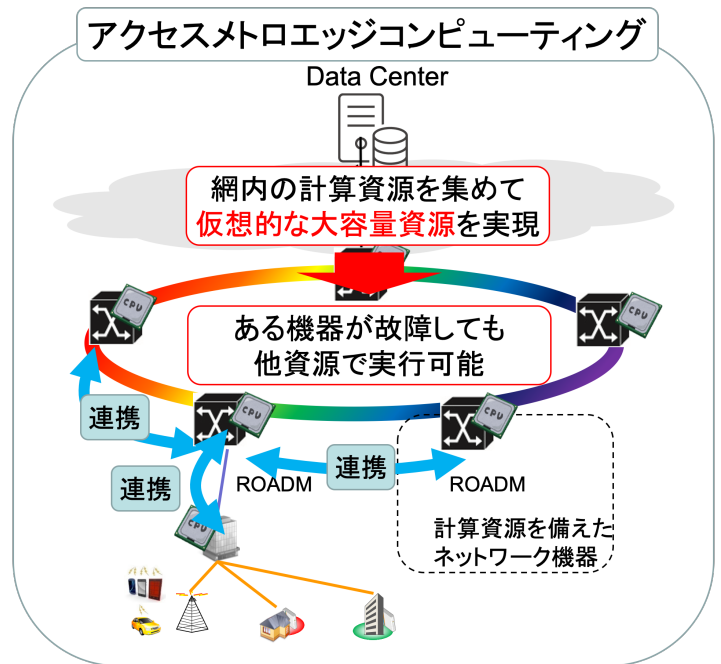
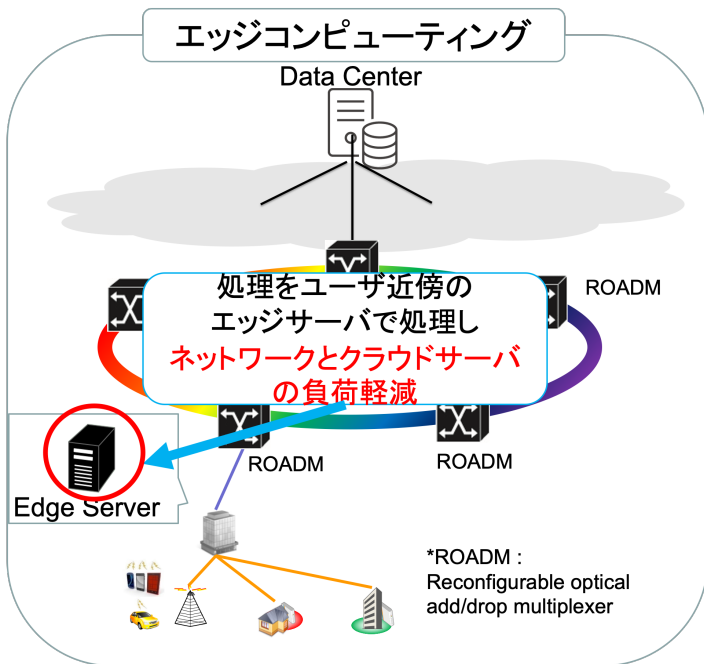


ネットワークとコンピューティングの リソース完全融合型アクセスメトロネットワークを目指して

Yamanaka Laboratory, Keio University, Japan

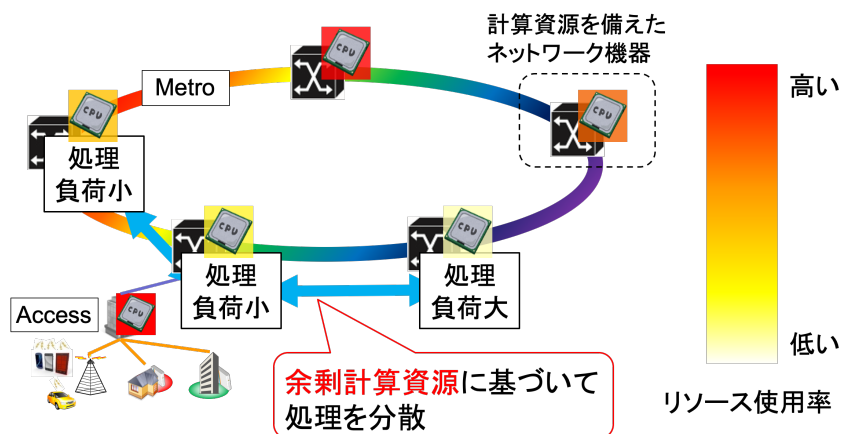
アクセスメトロエッジコンピューティング

- ◆アクセス・メトロネットワーク機器に制御可能な計算資源が与えられ、将来的にネットワーク機器の制御用CPUの余剰資源活用(アクセスメトロエッジコンピューティング)が期待される
- ◆実行されるサービスはネットワーク内資源の負荷状況を考慮した適切な資源により実行



アクセスメトロエッジコンピューティングによる処理分散

- ◆ネットワーク内の余剰計算資源を複数集め、1つの大きな計算資源と見なしアプリケーションを実行
- ◆余剰計算資源への処理の割り当てによって、処理負荷の分散が期待



研究者名

理工学部 情報工学科 教授 山中 直明 (Yamanaka Naoaki)

お問合せ先

Mail : yamanaka@ics.keio.ac.jp

URL : <http://www.yamanaka.ics.keio.ac.jp/>

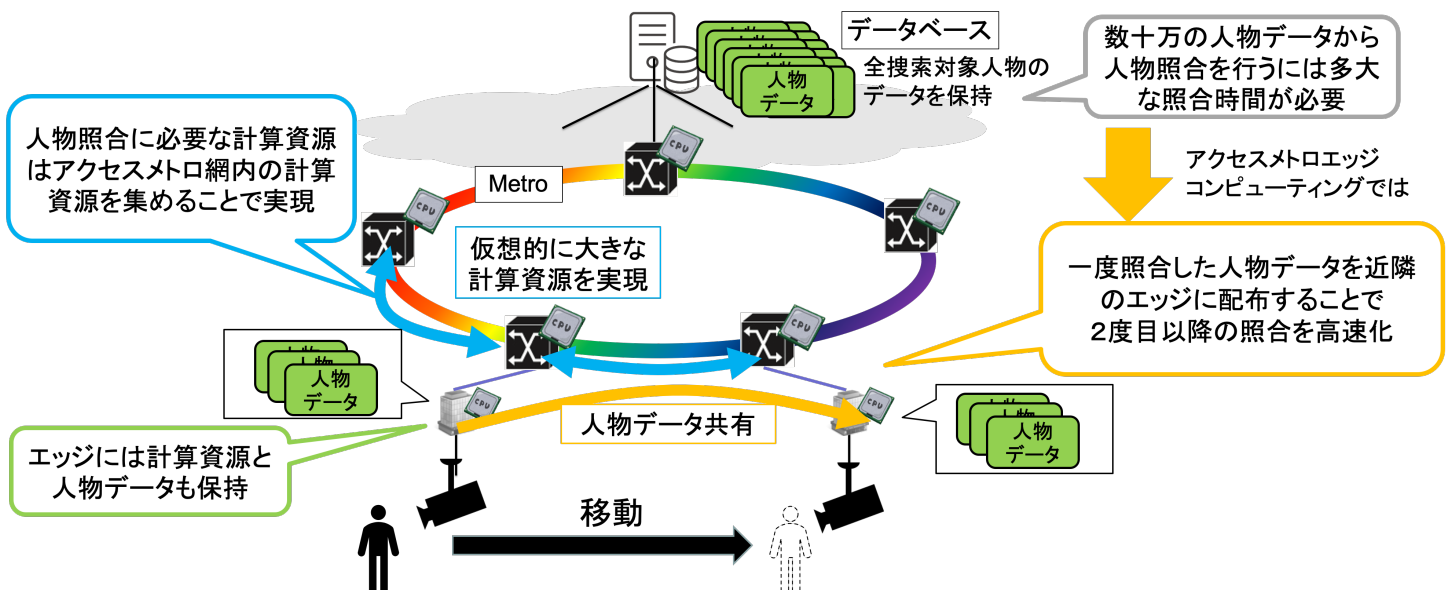
本研究開発は、総務省の「新たな社会インフラを担う革新的光ネットワーク技術の研究開発(JPMI00316)」によって実施した成果を含みます。

ネットワークとコンピューティングの リソース完全融合型アクセスmetroネットワークを目指して

Yamanaka Laboratory, Keio University, Japan

アクセスmetroエッジコンピューティングを利用したサービス例

- ◆街中の複数カメラを使用することで、行方不明者などの特定人物を検知・追跡するアプリケーションが期待されている
- ◆エッジに人物データを配置することで人物照合の高速実行を可能
- ◆近隣のエッジが人物データを共有することでエッジのみでの追跡が可能

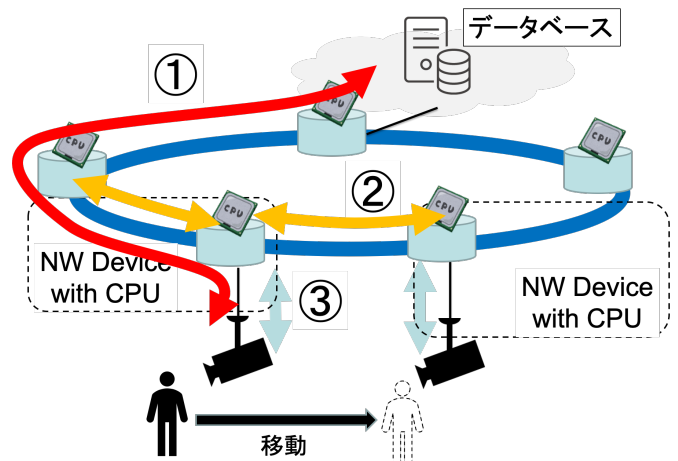


デモ構成

- ◆複数台のサーバで、アクセスmetro網を模擬
- ◆クラウドのデータベース上には数万規模の人物データを保存
- ◆ネットワーク機器の計算資源を利用して検知・追跡処理を実行

処理手順

1. クラウドに映像を送信して人物照合
2. 人物データを周辺エッジに配布
3. 2回目以降の照合はエッジで実行



研究者名

理工学部 情報工学科 教授 山中 直明 (Yamanaka Naoaki)

お問合せ先

Mail : yamanaka@ics.keio.ac.jp

URL : <http://www.yamanaka.ics.keio.ac.jp/>

本研究開発は、総務省の「新たな社会インフラを担う革新的光ネットワーク技術の研究開発(JPMI00316)」によって実施した成果を含みます。